

## 地域の景観へのアプローチについて！ / 石川研究室の取組

調布市景観アドバイザーである慶應義塾大学の石川教授とその研究室の学生による『「地域」の景観へのアプローチ』という視点で行ったフィールドワークや住民参加などの手法や取組について発表していただきました。その内容の一部を紹介します。

### 神奈川県藤沢市での取組

住宅地やまちなかの畑などにおいても、様々な景観が眠っています。地元にある身近な地域資源を見つけ共有することで、多くの魅力ある景観を見つけることができます。

### ○地域の直販所

まちなかにある畑の直売所を訪問し、そこで売られている農作物や生産者を調べ、それぞれの情報をポストカード1枚にまとめてPR（さらに詳細なデータをQRコードで紹介）



### ○地域の文化資源 / お地蔵様

道端にいるお地蔵様を見つけ、その形状や文字（設置された日時）を調べることで、そこにお地蔵様がいる理由、歴史を認識（お地蔵様プロフィールの作成・人気投票の実施など!）



### ○地域の身近な風景

カメラを持ってまちを歩き、そこで見つけたちょっと良いなと思った風景を写真に収めて持ち帰り、地域の写真集を作成。同じ場所でも人によって感じる地域の魅力を認識



### ○地域の成り立ちとまちづくり

白地図模型に地形図や古地図、航空写真、マスタープランなどのまちの情報を投影。日常では知ることがなかったまちの成り立ちや地理、未来のまちづくりについて再発見



### ○地域の移り変わり

まち全体の大サイズの地図を床に設置。その地域の移り変わりについて個人個人の言葉で語っていただき、今まで知ることがなかったまちの小さな変化について認識



## 今後の市民検討会のお知らせ

調布市は景観計画の改定に向け、様々な検討・見直しを行う予定です。

景観まちづくり市民検討会では新たにメンバーを集め、景観計画の改定に向けたご意見等を伺う会を開催したいと考えています。改めてお知らせいたしますので、よろしくお願いいたします。

市民検討会への参加をお待ちしております。



調布市では、景観まちづくりについて、景観だよりでお知らせしていきます。

発行：調布市都市整備部 都市計画課 開発景観係

Tel：042-481-7442 Fax：042-481-6800 Email：tikubetu@city.chofu.lg.jp

# ちょうふ景観だより

第62号

令和6年3月22日発行

## 「調布の景観 ～駅まわり編～」の完成！



### 「駅の景観」についてまとめました！

市民検討会で検討・調査を行い、メンバーにより編集を行った「駅の景観」の冊子が完成しました。

本号では、完成した冊子とともに、慶應義塾大学石川研究室で実施した地域の景観を再発見する手法や取組について、市民検討会で発表いただいた内容の一部を紹介します。

## 調布市内の「駅の景観」についてとりまとめました！

令和5年度の景観まちづくり市民検討会の活動として、令和元年度から「駅の景観」をテーマに行った調査・検討について、検討会での編集会議などを経て取りまとめた冊子

「調布の景観～駅まわり編～」を作成しました。

本号では、その内容の一部を紹介します。



### ○調布らしさが感じられる3つの視点

線路の地下化や周辺開発などによりまちが変化していくなかで、駅や駅まわりを見渡し、あらためて発見した、「調布らしさを感じる」景観を整理しました。



#### 広場を見おろす景観

普段は地上からしか広場を見ることはありませんが、広場を囲む建物から見おろす風景は、調布駅のあらたな景観となることを発見しました。



#### 空と夕陽の景観

調布市内の駅まわりでは、それぞれの立地条件・季節に応じて様々な空や夕陽を見ることができると発見しました。



#### 人がつくる景観

「人がいる」、「人を感じる」ことができる場面が、まちの景観を形成する一部であることをあらためて認識しました。

### ○市内9駅の駅まわりで発見した魅力ある景観

調査・検討で発見した市内9駅の魅力ある景観を駅ごとに整理しました。※それぞれの魅力イメージは右写真参照

#### 各駅の駅まわりで発見した魅力シート



各駅の特徴を掲載したページには皆さんが感じた魅力ある景観について書き込みができるスペースを用意しています。ぜひそのスペースを埋めてこの冊子を完成させてください。



#### 西調布駅

路地裏に入ると昔ながらの商店街が残っており、ヒューマンスケールなほっとする風景に感じられます。



#### 国領駅

電柱や電線が無くなり、これまでより夕陽の空を感じるようになりました。



#### つつじヶ丘駅

刻々と変わる街並みのなかで、駅まわりの貴重な緑のある風景になっています。

## 検討会参加メンバーからの感想など

冊子完成までの5年間の検討会での活動を通じての感想や、今後の景観まちづくりに向けた想いをお聞きしました。

その一部を紹介します。



「駅の景観」のテーマで考えるなかで、普段は感じる事ができないあらたな発見も数多くあり楽しく参加できた。



調布の景観を守っていくなかで調布市全体があたたかさの中にも刺激的な空気で満たされると素敵だなと感じました。検討会を通じて今後も景観まちづくりに目の肥えた市民が増えていくと良いと思います。

景観のワークショップとは違った切り口で、はっとさせられることも多くあり、冊子にもそのエッセンスが詰まっていた良いと思いました。この冊子を含め市の景観まちづくりが幅広く市民に伝わって欲しいと思います。



## 景観アドバイザーからのご意見



### 石川 初氏

慶應義塾大学 環境情報学部 教授  
調布市景観審議会委員  
調布市景観アドバイザー

- コロナ禍もあったことで「駅の景観」については5年間継続したテーマで調査・検討を進めてきましたが、発見の多い検討会であったと思いました。
- 景観の見方は人それぞれであり、捉え方によって感じ方が違います。一人一人が作り手側になり、自分の家の周りの緑を手入れするなど、様々な形で景観に寄与できると思います。
- 景観には終わりがありません。社会情勢や周辺の動向などにより景観の価値や考え方も変化していくからです。市民検討会の皆さんがその変化を感じつつ、一人の景観づくりの担い手として今後も関心を持って調布の景観について考えていって欲しいと思います。



「調布の景観～駅まわり編～」の冊子について、調布市役所等での配布をはじめ市HPでの公表を予定しております。楽しみにお待ちしております。